

8 河道特性

熊野川河口から約 5km までの区間は、兩岸には平地が広がり左岸側は紀宝町、右岸側は新宮市の市街地となっている。この区間の河床勾配は約 1/1,000 であり、蛇行は比較的少なく、川幅は広く 800m から 400m である。河床材料は代表的な粒径が 30mm から 50mm であり河口付近の河床材料としては比較的大きい。

また、河口部には砂州が発達しており、平常時に砂州によって河口が閉塞し、洪水時に流出することを繰り返している。

5km より上流の区間では、兩岸に山が迫り谷地形を呈している。河床勾配は 1/600 から 1/1,000 と急勾配で、蛇行が比較的激しく、川幅は 300m 程度である。

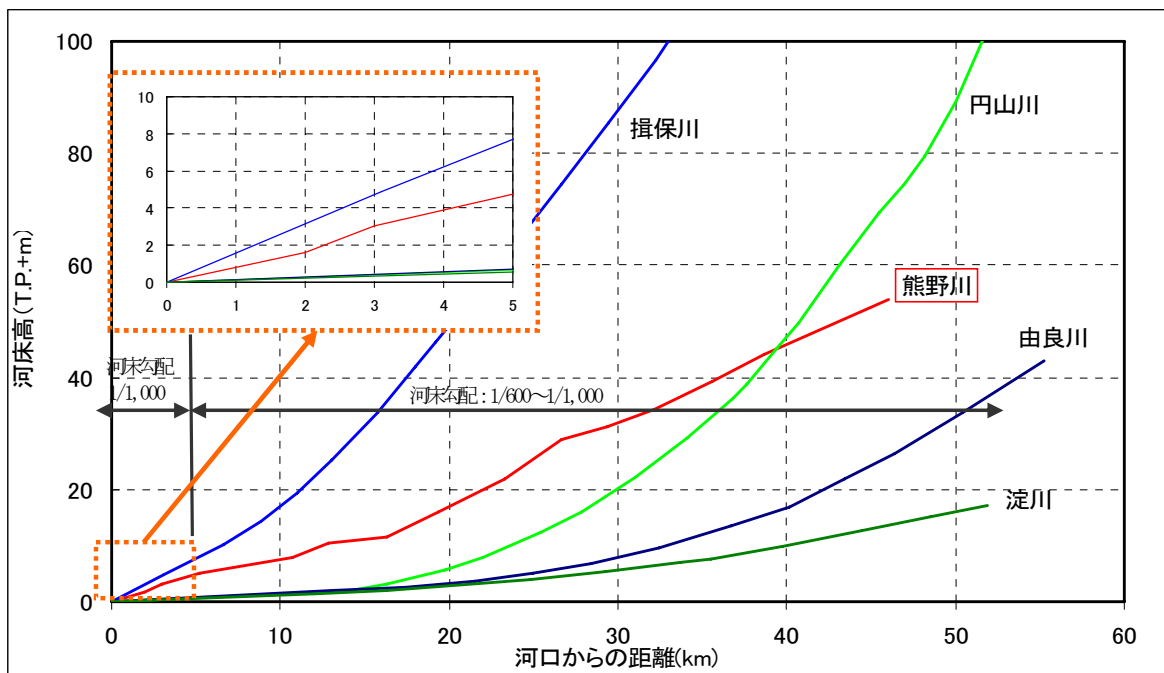


図 8-1 熊野川縦断面図

平常時の河口部 (平成 10 年 5 月)



洪水時の河口部 (平成 9 年 7 月 台風 9 号)



図 8-2 熊野川河口部